

2021-10-1
No.1069 500円

思想運動

朝鮮人追悼碑裁判不当判決糾弾	2面
横浜市長選を振り返って	3面
ブラシヤドのアフガン情勢分析	4～5面
砂川闘争と砂川事件裁判(上)	6面
原発汚染水海洋放出の決定に抗議	7面
コロナ禍の朝鮮人差別を許さない	9面
書評＝立野正裕の二冊の近著	11面

歌川国芳／源頼光公館土蜘蛛妖怪図（部分）
天保の改革で抑圧された民衆の抵抗を表現したといわれる国芳の諷刺画の代表作 関連記事 一〇面



今日の日本の支配権力はファシズムだろうか。なるほど、一九三五年のコンテレル第七回大会でのディミトロフ報告がいうように「権力をにぎったファシズムは、金融資本のもっとも反動的、もっとも排外主義的、もっとも帝国主義的な分子の公然たるテロ独裁である」から、顕著な特徴であった「野蛮なむきだし」の暴力」という点で異議が出されるのは首肯できる。

しかしディミトロフは続けて各国のファシズムのスローガンに言及した。「公益は私益に優先する（ドイツ）、わが国家は資本主義国家ではない（イタリア）、搾取なき日本を（日本）、富の分配を（アメリカ合衆国）と。どれも聞き覚えがありすぎるのである。

「公益」の名のもとに、沖縄の辺野古基地建設があり、核兵器所有の願望を懐疑はせ

た核エネルギー開発があり、新しい投資先のクリーンエネルギー開発がある。忘れてはならないのが、「平和」という「公益」をにかけている日米安全保障条約であり、今年で七〇年というのを契機にしたわけではないだろうか、中国・朝鮮を想定した敵基地先制攻撃までもが、積極的平和

統一戦線への途

労働運動強化以外の近道はない

「公益」の名の下で組上に上は、一九三〇年代のドイツのようにデモ隊が発砲されることはないが、これらはまさしく「むきだし」の暴力」とはなんだろうか。たとえば、関西生コン委員長の尋常ならざる長期の拘束と裁判はどのようなか？ 韓国サンケン労組の闘争支援行動で逮捕、五か月近く拘束されている尾澤孝司さんのことは？ 沖縄の反基地闘争で闘っているひとたちへ

の国家権力の暴力は？ 土地を強制的に収奪する。デジタル顔の強制的収奪は？ デジタル顔の強制的収奪は？ デジタル顔の強制的収奪は？ デジタル顔の強制的収奪は？ デジタル顔の強制的収奪は？

か？ 多数派の意思に従うことを踏み絵にする「統一戦線」は「戦術」ではない。「野合」か「茶番」か、これから開幕する「衆院選」の一幕劇を、われわれは「プロレタリアートの『益』になるかどうか」で判断するだろう。われわれは連合、全労連、全労協の統一戦線を望んでいる。現状では一笑に付されるだけだろう。しかし労働者の巨大な隊列がでなければ、ファシズムと闘うことも、ましてや社会を変えることなどではしない。トップが組合員を選ぶのではなく、組合員がトップを選ぶ、変えるのだ。振り向けば、実らなかつた努力が敷き詰められている。けれど近道はない。「左へ、二、三、左へ、二、三、きみの場所はその連帯の隊列を組め、労働者たちから「フレイト、統一戦線のうた」

おり、今回の事態は両者の合意のもとに進んだであろうし、そこにはカルザイら旧支配勢力もからんでいると思われる。もちろんタリバンが政権に就いてもアフガニスタンに安定がもたらされることはない。むしろ帝国主義としては、中国とロシアの「柔らかな下腹」といわれるこの地域により「不安定な状況」が創り出され、そこがイスラム主義者ら反革命勢力の両国への出撃拠点となることを望んでいるのである。かれらはアフガニスタンの平和の回復や人民の生活の安定など端から眼中にないのだ

四月革命と民主共和国の治世が培った平和と人民主義の精神は現在でもアフガニスタンの人びとの間に生きている。われわれはそうした人びとを支持し連帯する。関連記事四〇五面。 天山 歩